

## 箱根山の火山活動解説資料

気象庁地震火山部  
火山監視・情報センター

<噴火警戒レベルを2(火口周辺規制)から1(活火山であることに留意)に引下げ>

箱根山では、大涌谷で7月1日にごく小規模な噴火が発生した以降、噴火は観測されていません。地震活動は低下傾向が続いており、ほぼ4月の活動活発化以前の状態となっています。国土地理院のGNSS<sup>1)</sup>連続観測で見られていた山体の膨張を示す地殻変動も、8月下旬頃から停滞し、その後特段の変化はみられていません。また、気象庁と神奈川県温泉地学研究所が設置している傾斜計や体積ひずみ計では、8月以降火山活動に関連する変動は見られていません。

以上のことから、大涌谷周辺の想定火口域において噴火の可能性は低くなりました。本日(20日)14時00分に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2(火口周辺規制)から1(活火山であることに留意)に引下げました。

一方、大涌谷周辺の想定火口域では、緩やかな低下傾向はみられるものの、噴気活動が活発なところがあります。大涌谷周辺の想定火口域では、噴気や火山ガスに引き続き注意してください。

### 活動概況

#### ・地震や微動の発生状況(図1-、図2)

火山性地震は7月以降減少しており、10月以降少ない状態で経過しています。低周波地震及び火山性微動は観測されていません。

地震活動は低下傾向が続いており、ほぼ4月の活発化以前の状態となっています。

#### ・地殻変動の状況(図1-、図3、図8)

国土地理院のGNSS連続観測によると、箱根山周辺の基線で4月から山体の膨張を示す地殻変動がみられていましたが、8月下旬頃から停滞し、その後特段の変化はみられていません。また、気象庁と神奈川県温泉地学研究所が設置している傾斜計及び気象庁の湯河原鍛冶屋の体積ひずみ計では8月以降火山活動に関連する変動は見られていません。

#### ・噴気などの表面現象の状況(図4~図6)

大涌谷に設置している遠望カメラによる観測では、15-1火口や噴気孔、またその周辺の大涌谷温泉供給施設から引き続き蒸気が勢いよく噴出しています。

6日に実施した現地調査では、これまでの現地調査と同様に15-1火口及び15-2~4の各噴気孔、またその周辺の大涌谷温泉供給施設から引き続き噴煙や噴気が勢いよく噴出しているのを確認しました。大涌谷全体の状況としては、前回(10月9日)の現地調査の時と比較して、噴煙や噴気の量に大きな変化はみられていません。

また、箱根町によると、大涌谷の火口や噴気孔から火山性ガスが噴出しているため、大涌谷周辺では、4月の活発化以前と比べて高い濃度の火山性ガスが観測されています。

1) GNSS(Global Navigation Satellite Systems)とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ(<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び神奈川県温泉地学研究所、箱根町のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『電子地形図(タイル)』『数値地図50mメッシュ(標高)』『数値地図25000(行政界・海岸線)』『数値地図25000(地図画像)』を使用しています(承認番号:平26情使、第578号)。

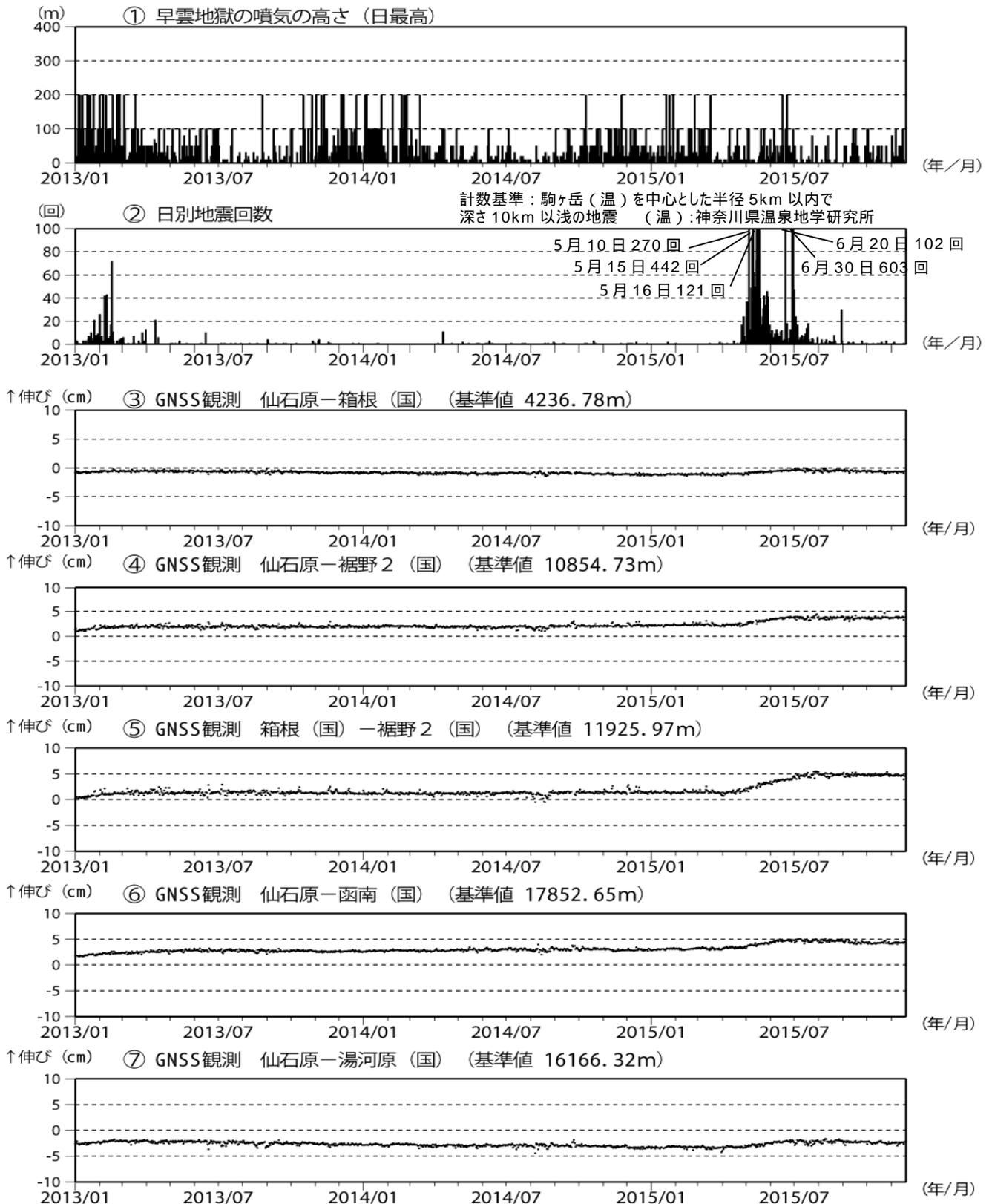
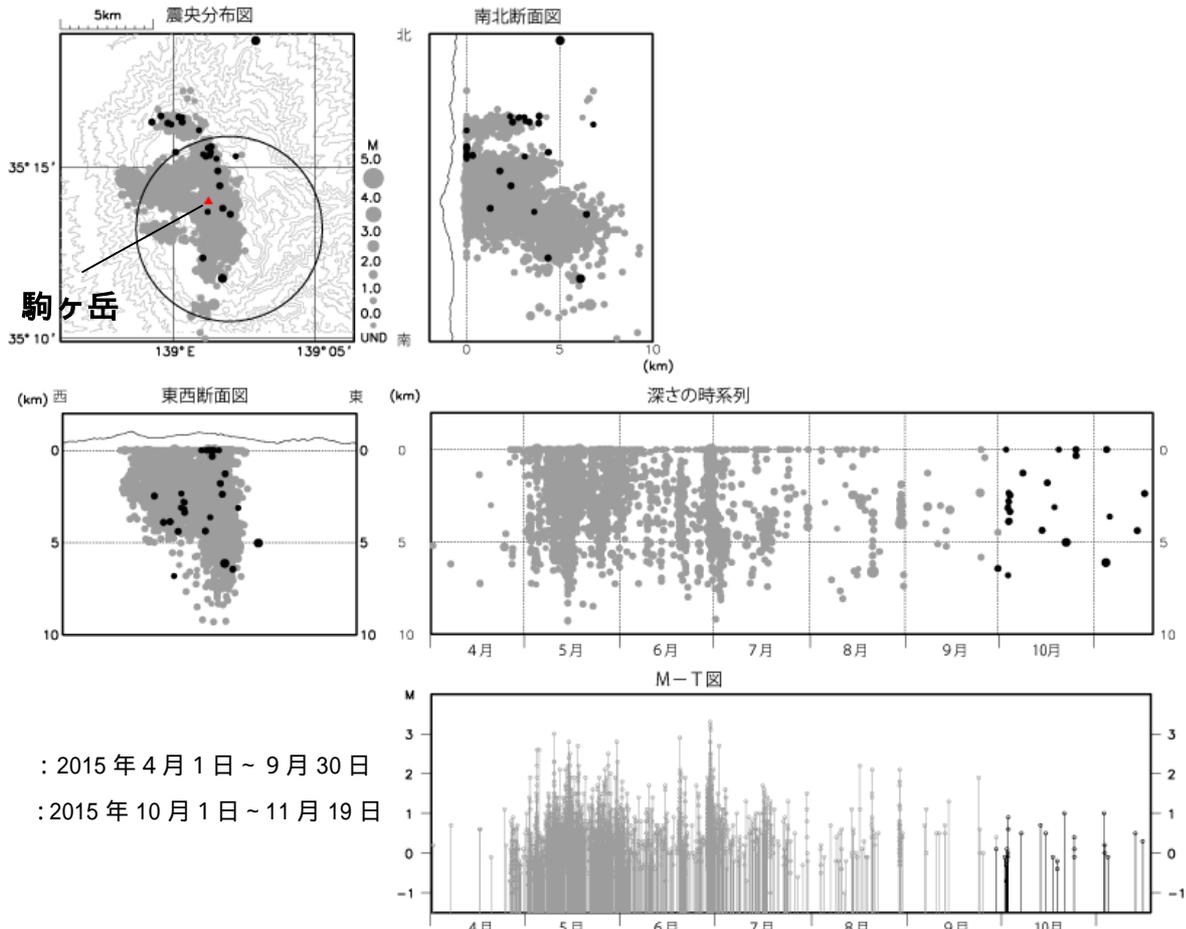


図1 箱根山 火山活動経過図 (2013年1月1日~2015年11月19日)

- ・ 4月下旬以降、地震活動が活発化していましたが、6月に入ってから減少傾向がみられていました。6月末に一時的に活発となり、6月30日には603回の火山性地震が発生しました。7月以降は低下傾向がみられており、10月以降は少ない状態で経過しています。
- ・ 4月から箱根山周辺の基線で山体の膨張を示す地殻変動がみられていましたが、8月下旬頃からその傾向が停滞しています。なお、GNSS基線 ~ は図8の ~ に対応しています。また、解析に際しては対流圏補正と電離層補正を行っています。



: 2015年4月1日～9月30日  
 : 2015年10月1日～11月19日

図2 箱根山 広域地震観測網による山体周辺の震源分布図(2015年4月1日～11月19日)

- ・ M (マグニチュード) は地震の規模を表しています。図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。震央分布図の円は、駒ヶ岳観測点(温)を中心とした半径5kmの範囲を示しています。
- ・ 火山性地震は7月以降減少しており、10月以降は少ない状態で経過しました。

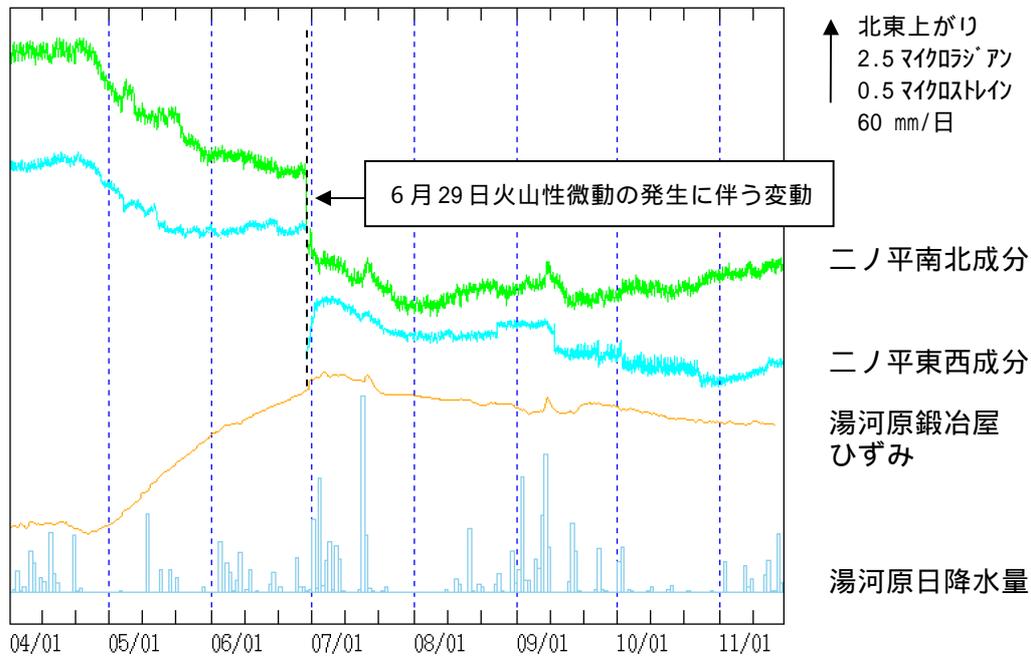


図3 箱根山 二ノ平観測点傾斜データ及び湯河原鍛冶屋観測点におけるひずみデータの変化(2015年4月1日～11月19日)

- ・ 二ノ平観測点の傾斜計及び湯河原鍛冶屋観測点の体積ひずみ計では、8月以降火山活動による変化はみられていません。



図4 箱根山 大涌谷周辺の状況(左図:10月9日 右図:11月6日 撮影)

- ・6日に実施した現地調査では、これまでの現地調査と同様に噴煙や噴気が勢いよく噴出しているのを確認しました。また、火口の大きさや形状にも変化はありませんでした。



図5 箱根山 大涌谷の状況

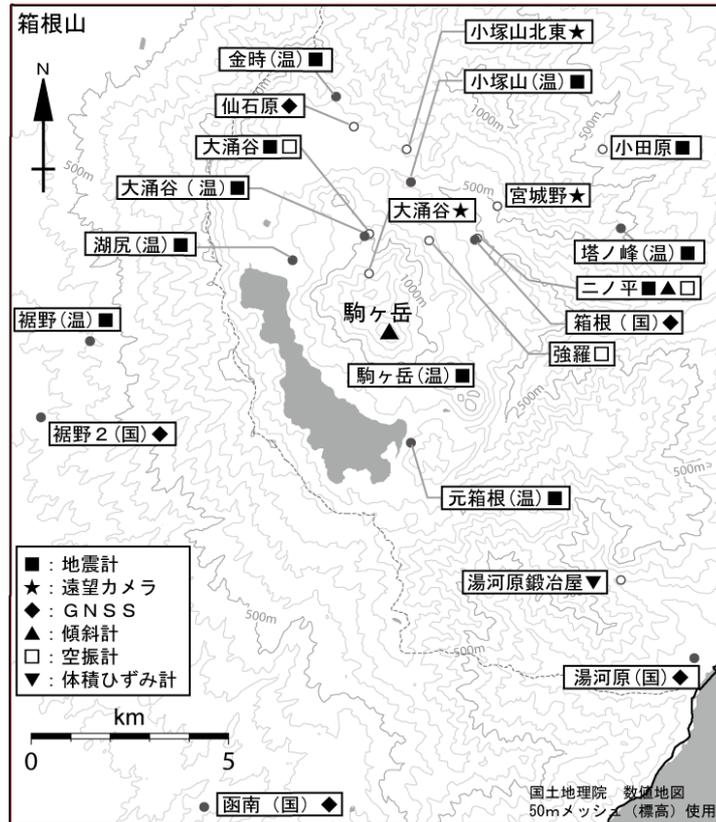
(11月16日、大涌谷遠望カメラによる)

- ・15-1火口や噴気孔、またその周辺の大涌谷温泉供給施設から引き続き蒸気が勢いよく噴出しています。



図6 箱根山 噴気場所(大涌谷)位置図

緑丸は大涌谷遠望カメラ設置場所及び図4の撮影場所  
赤矢印は撮影方向



小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
 (国) : 国土地理院、(温) : 神奈川県温泉地学研究所

図 7 箱根山 観測点配置図

- ・小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の観測点を示す。
- (国) : 国土地理院、(温) : 神奈川県温泉地学研究所

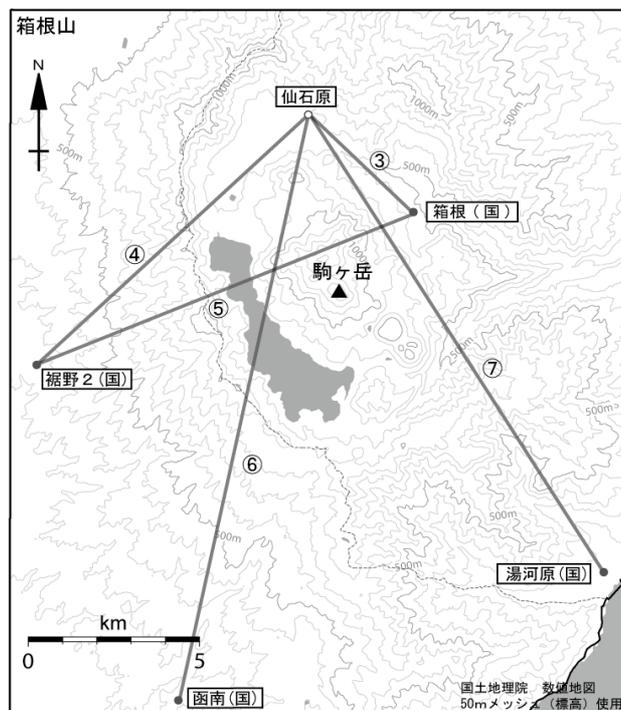


図 8 箱根山 GNSS 連続観測点配置図

- ・小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の観測点を示しています。(国) : 国土地理院
- ・GNSS 基線 ~ は図 1 の ~ に対応しています。